

平成25年度新ふるさとづくり総合支援事業 実施事業一覧表(南予地方局)

番号	市町名	事業名	事業概要	事業主体	数値目標	事業成果
						目標達成
1	八幡浜市	八幡浜魚食文化継承事業	新魚市場に設けられる調理実習室を活用した魚食教育事業と魚食普及事業の2本を実施。魚食教育事業は小学校を対象に、八幡浜の水産物の歴史や魚食文化について学び、魚に触れ、調理することで魚食に親しむ講座とする。魚食普及事業は一般の方を対象に、各季節の行事にふさわしい料理を講師を招き、一般家庭への魚食普及を推進する。	市町	家庭における魚食機会1.5倍(参加者アンケート) 海産物直売所集客数2割増	①2.21日、87% ②176,328人、 275%
2	八幡浜市	やわははまご当地グルメスタンプラリー事業	八幡浜ちゃんぽん等ご当地グルメを活かし、道の駅・みなとオアシス「みなと」など本市を訪れる観光客に市内各地を周遊してもらい、市全体の活性化を図ることを目的とする。	市町	観光客数前年比5%増	1,211,000人、 268%
3	八幡浜市	八幡浜日帰り観光バスツアー事業	新規オープンする道の駅・みなとオアシス「みなと」と八幡浜ちゃんぽんその他街並散策、定期市等の観光資源を組み合わせた日帰り観光バスツアーをバスツアー事業者に企画してもらい実施する。	市町	観光客数前年比5%増	733,000人、162%
4	八幡浜市	県・市町連携物産展事業	県と市町が連携し、「県・市町連携物産展」に参加することにより、当市のソウルフードである八幡浜ちゃんぽんと全国ブランドである柑橘の販売を通して、関西地区における特産品の知名度向上と観光PRに資することを目的とする。	市町	集客数1日平均3,000人×7日 売上高1日平均60,000円×7日	①18,838人、90% ②386,848円、 92%
5	大洲市	地域公共交通活性化支援事業	地域における公共交通等の実情や利用者や住民からの意見を踏まえ、利便性が高く、効率的で持続可能な公共交通のあり方を検討し、公共交通活性化プランとして取りまとめる。	市町	再編成路線6路線	5路線、83%
6	大洲市	肱川橋周辺まちづくり支援事業	「肱川橋周辺まちづくり基本計画」の提言を受け、今後取り組むべき具体的な公共事業の導入、民間事業への支援などについて検証・整理し実施プランを練り上げていく場としてワークショップを開催することにより、市民のまちづくり意識の醸成、事業参加を図ると共に、人材育成及び受け皿団体の育成に努める。	市町	ワークショップ開催回数4回 参加人数延べ100人	97人、97%
7	大洲市	広域連携による観光情報誌作成事業	それぞれの自治体にある自然・歴史・文化・伝統・郷土食などの観光資源をひとつの小冊子として作成し、観光情報誌への入れ込みや県内外への配布によって、観光客への魅力が高まり、連携して情報発信を行うことで、観光振興を図る。	民間	圏域外小冊子設置数30箇所、15,000部	①87箇所、290% ②15,050部、 100%
8	大洲市	県・市町連携物産展	平成25年4月19日に改装オープンし、これまで以上の集客力、並びに関西における情報発信基地として期待できる「ダイキなんば店」において、県と連携し、県産品を一堂に集め、観光PR等を含めた「県・市町連携物産展」に参加することにより、関西圏における本市産品の売り込み及び観光PRを実施する。	市町	集客数1日平均3,000人×14日 売上高1日平均80,000円×14日	①44,000人、 105% ② 1,032,000円、 92%

9	西予市	四国西予ジオパーク構想推進事業	24年度に引き続きジオパーク普及・啓発を目的とした市民向け講座や講演会を開催することで市民意識の高揚を図り、万全を期して認定審査に臨む。ジオガイドの養成・スキルアップ、ジオサイトの充実、ホームページ等による情報発信力の更なる強化を図る。さらに、日本ジオパーク認定となった暁には、市内外へ「四国西予ジオパーク」を強力にPRする。	市町	主要観光施設入込客数5%増 ジオガイド養成講座15回 ジオ関連講座参加者1500名 ジオツアー参加者(市外)100名	①1,195,230人、93% ②20回、133% ③2,087名、139% ④491名、491%
10	西予市	地域公共交通確保維持改善事業	野村地域全体のバス利用者状況(対象75歳以上)をアンケートにより調査し、病院の利用状況と合わせて、効率的で持続可能な公共交通のあり方を検討し、野村地区新交通システム計画書として取りまとめる。	市町	地域協議会数1→6	7協議会、117%
11	西予市	せいよ部マネージャー地域活性化事業	平成26年度に合併10周年を迎えるが、県外での知名度は低いままであり、これを打破するために「せいよ部マネージャー」と称する宣伝広報担当の女性グループを設置し、特産品販売や市関連イベントに参加することで、知名度アップや観光客増などの地域活性化に寄与する。そのために25年度事業として人材募集と研修、グループ結成に際してのPRを行う。	市町	HP閲覧数1,000件、facebook閲覧者数1,100件	①609件、61% ②14,079件、1,280%
12	西予市	県・市町連携物産展事業	県外における県・市町連携物産展の一環である、大阪市のダイキなんば店における物産展に参加することにより、関西地区において市の特産品の売上向上と販路拡大、市の知名度アップをはかるとともに、西予市の観光資源、特産品を広くPRすることによって、西予市を訪問する観光客・宿泊客の増加を目指す。	市町	集客数1日平均3,000人×14日 売上高1日平均100,000円×14日	①39,572人、94% ②786,313円、56%
13	内子町	内子町ビジターセンター機能グレードアップ事業	ビジターセンター活用計画の中で、施設をより魅力あるものにするため、「ねき歩き」を実施する。「ねき」とは、内子の方言で近所という意味。地元サポーターを育成し、観光客を案内することで近所を散歩するように楽しく安全にまち歩きを楽しんでいただく。	市町	ねき歩き体験者数50件	37件、74%
14	内子町	内子町訴求・観光客誘致に関する事業	主要旅行会社及び観光コンサルタントを内子町に招聘し旅行プラン造成のためモニターツアーを実施。町内関連事業者セミナーを開催し質的向上を図る。着地型観光振興のための旅行商品造成及び首都圏や関西などで営業活動を実施。	市町	セミナー開催3回延べ60人参加 観光旅行商品7個作成、そのうち2つを実施し20人以上参加	①67人、112% ②8個作成、114% ③363人、1,815%
15	内子町	内子の食開発事業	観光客の需要として「食」が大きな割合を占めていることから、「地域の名物料理」が観光振興に果たす役割は大きい。このことから、町内の飲食業者及びグリーンツーリズム関係者への調理学習会や新メニュー開発講習を行い、食のレベルアップを図り、ひいては食による観光振興に寄与させたい。	市町	学習会参加者 グリーンツーリズム75名、料飲組合32名 新メニュー開発3品	①48名、64% ②40名、125% ③4品、133%
16	内子町	県・市町連携物産展	平成25年4月19日に改装オープンし、これまで以上の集客力、並びに関西における情報発信基地として期待できる「ダイキなんば店」において、県・他市町と連携し、愛媛県産品を一堂に集め、観光PR等を含めた「県・市町連携物産展」を開催することにより、関西圏における内子産品の売り込み及び観光PRを実施する。	市町	集客数1日平均3,000人×7日 売上高1日平均50,000円×7日	①365,132円、104% ②20,734人、99%

17	伊方町	県・市町連携物産展	関西における情報発信基地として価値の向上が期待できる「ダイキなんば店」において開催される物産展に参加することにより、都市部で特産品を売り込む営業の展開、販売店での商品常設など販路の拡大、販売促進に努める。	市町	集客数1日平均3,000人×14日 売上高1日平均100,000円×14日	①44,919人、107% ②1,718,857円、123%
18	宇和島市	中心市街地活性化事業	中心商店街に、市内外でさまざまなテーマで活動をしているテーマ型のコミュニティとつなげていく場を設定し、商店街という街中の空間を利用して活動する人材づくり、さらには既存の商店街組織に変わるものをつくりあげていくことを目的とし、ワークショップ開催やアクションプランの作成を行う。	市町	ワークショップ参加市民活動団体数20団体	23団体、115%
19	宇和島市	高等教育機関と連携した宇和島農業の未来を担う人材育成事業	市内で生産されている農産物を活用して、新たな加工品の試作から販売までに必要な一連の知識を講義と実習及び先進地視察などから学び、農の6次産業化を実践できる人材を育成する。	市町	講座修了者12名以上 新規商品の開発及び販売3個	①14名、117% ②2個、67%
20	宇和島市	スポーツ文化合宿誘致活動等推進事業	自治体や宿泊施設などの民間団体が互いに連携し、長期滞在が見込める合宿の誘致促進を県外大学や旅行エージェントへ働きかけたり、合宿の説明会等を行い、交流人口の拡大、ひいては地域活性化につなげる。	民間	延べ宿泊数5000泊	4,290泊、86%
21	宇和島市	愛育フィッシュ活用推進事業	宇和島市島再生プロジェクトのモデル地区である戸島の愛育フィッシュを活用した宇和島・仙台の姉妹都市コラボ商品の開発や、高校生とのコラボ缶詰等の試作、開発商品のモニタリング調査及びテスト販売、意識向上のためのワークショップを開催する。	市町	事業参加者150名	178名、119%
22	宇和島市	郷土の知られざる偉人顕彰事業	倉敷市の芸術文化のまちづくりを支えた明治の南予人を通じて郷土の誇りを高めることや、倉敷市との交流を通じて宇和島の歴史文化の薫るまちづくりに寄与することを目的に、文芸講座の開催や工芸品の展示会、リーフレットの作成を行う。	市町	文化講座参加者300名	650名、217%
23	宇和島市	宇和島市国際交流事業	ハワイ州ホノルル市を訪問し、フラダンスを通じた現地団体との交流会や来年度の姉妹都市10周年記念事業事前協議会、えひめ丸慰霊式等を行い、県主催の愛媛フェアやハワイ州姉妹提携10周年記念式典にも出席する。	市町	交流会現地参加者100名	300名、300%
24	宇和島市	南予食の祭典in宇和島	郷土料理、豊かな自然に育まれた農水産物を素材にした山の幸や海の幸、近年新たに開発されたグルメなど、特色ある多様な南予の観光資源である「食」テーマにしたイベントを開催することで、いやし博の盛り上げを一過性で終わらせることのないよう、またさらなる観光客誘致並びに地域経済の活性化を図る。	市町	集客数12,000人	20,000人、167%
25	松野町	予土地域連携交流促進事業	予土県境地域の自治体の連携促進と、地域資源を活用した連携交流モデル事業等として、予土県境地域連携連絡会開催やがっつりアウトドア@四万十川等を実施する。	市町	交流拠点施設(道の駅)集客数11.3万人→12.5万人 モニターツアー参加者25人	①108,000人、86% ②30人、120%

26	松野町	関西地区観光物産フェア開催事業	ダイキなんば店での特産品販売ブース設置による販促や、観光ブース設置による地域資源を活かしたアウトドアスポーツ、四国水ブランド構想等のPRを行う。	市町	集客数1日平均8000人×28日 売上高1日平均30,000円×28日 滑床アウトドアセンター利用者20%増	①83,521人、37% ②1,104,073円、 131% ③2,385人、147%
27	松野町	JR予土線松丸駅舎活用事業	JR松丸駅を松野町のターミナルと位置づけ、駅にて音楽祭やうまいもの合戦など訴求力のあるイベントを行い、JR予土線沿線のPRをし、利用促進につなげる。	市町	集客数2500人	6,000人、240%
28	松野町	松野のうなぎ文化再発見事業	松野のうなぎ文化を再発見するために、広見川うなぎフォーラムの開催や、うなぎたべくらべ合戦、ウナギの放流事業、パネル展を実施し、地域の食文化継承や郷土愛醸成を図る。	市町	フォーラム来場者150名 たべくらべ合戦来場者1,500人	①130名、87% ②3,000人、200%
29	鬼北町	県・市町連携物産展事業	ダイキなんば店において愛媛県と市町が連携し、本県産品等を一堂に集めた物産展を開催し、関西圏において町特産品等のPRを実施するとともに、本庁のゆるキャラや観光大使などが観光PRを行う。	市町	集客数1日平均3000人×14日 売上高1日平均30,000円×14日	①40,398人、96% ②536,319円、 192%
30	鬼北町	鬼北町特産品PR事業	大阪・東京・千葉のイベント会場等において町産品を集めた物産展を開催し、ゆるキャラや観光大使によるPRも行い、町産品の売り上げ向上及び関東・関西圏域からの交流人口増加を図る。	市町	売上高1日平均60,000円×6日	494,150円、137%
31	鬼北町	地域資源ブラッシュアップ事業	町名の由来である「鬼が城山系」を活用した誘客促進として、トレッキング愛好者の組織化や案内人育成を図ったり、農家民宿支援として提供する郷土料理の講習、地域学講座や先進地視察研修を通じてグリーンツーリズムを推進する人材の発掘及び育成を行う。	市町	鬼が城山系トレッキングクラブ加入40名	45名、113%
32	鬼北町	モニュメント設置事業	鬼北町は全国で唯一「鬼」という文字が入る自治体であり、「鬼」の町と称してモニュメント模型を制作して町のPRを行い、シンボルとして印象付けることを目的とする。	市町	26年3月鬼北町来訪者数前年比120%、26年3月観光物産館での閲覧者6,500人、名称応募件数200件	①20,920人、 102% ②6,982人、107% ③151件、76%
33	鬼北町	鬼北町マスコット・イメージキャラクター製作事業	平成23年度に誕生したマスコットキャラクターが特産品販売及び知名度向上に絶大な効果を発揮しているが、現在1体で町事業でほぼ予定が埋まり、外部からの貸出依頼に対応しきれていない。このため、2体目を作成して民間団体等への貸出専用とし、機会損失を無くして鬼北町の認知度向上や経済効果及び集客につなげる。	市町	貸出件数前年同月比200%	12件、120%
34	愛南町	第2回愛南町いやしの郷トライアスロン大会開催事業	えひめ南予いやし博の記念イベントとして開催したトライアスロン大会を規模拡充し地域に根差したイベントとして定着化させることによって、観光・交流人口の拡大と経済効果の増加を図る。	民間	参加者300人 来場者数2500人 ボランティア団体50、人数850 協賛団体10 経済効果18,500千円	①312人、104% ②3,000人、120% ③70団体、140% ④950人、112% ⑤8団体、80% ⑥20,000,000円、108%
35	愛南町	愛南町イメージキャラクター製作事業	イメージキャラクターを製作することで、愛南町民に愛され、特産や観光事業をアピールするメインキャラクターとして、公的に県内外にPRし、町の認知度を向上させる。	市町	一次審査投票者数及びネーミング応募者数延べ1200人	846人、71%

36	愛南町	愛南町地域公共交通総合連携計画策定調査業務	住民へのアンケートによる公共交通ニーズの調査や交通事業者・教育機関等へのヒアリングを行い、町の公共交通における課題を抽出・整理したうえで、愛南町の地域特性や現況交通実態に合わせた地域公共交通計画を策定する。	市町	アンケート回収率 50%	47.13%、94%
37	愛南町	愛南町食のイベント事業	春の「愛南びやびや祭り」、冬の「うまいもん市inあいなん」に続き、秋に食の大型イベントを開催することで、年間通じての集客、併せて地域の活性化及び観光振興の発展に繋げていく。	民間	来場者数16,500人	12,000人、73%
38	愛南町	愛南町おくすり手帳カバー（多機能手帳カバー）製作業務	調剤薬局で配られる薬の服用履歴等が記載されたおくすり手帳に、保険証や診察カード、介護保険証等を一括管理できる多機能手帳カバーを製作し、町内の高齢者に配布することで、情報の確認が正確に行われ適切な治療に結びつけることができる。	市町	配布者数(11~1月) 3,300人	4,124人、125%
39	愛南町	平成25年度愛南町防災地域社会システム(防災文化)創造事業	愛南町における防災教育の推進に関する協定に基づき、地域に密着し機能する防災地域社会システムを構築するため、子供を含む若手県への研修視察、防災フォーラムの開催、防災教育プログラムの作成、災害体験談集(マップ付)の作成を行う。	市町	研修参加者2,500人	2,101人、84%